

● **NTTデータ**

映像空間情報を見える化する イメージソリューション



映像空間情報を位置情報と 時間の概念で整理・蓄積

NTTデータでは、地球観測衛星や航空機（ヘリコプター）で撮影した空撮画像や、車載カメラより撮影した全方位画像などの各種映像情報を、位置情報と時間軸とでリンクさせて整理・蓄積した映像空間情報として活用する「イメージソリューション」を展開している。GEOPLATSやMaDoREといったNTTデータで保有するGISプラットフォームをはじめ、他社のプラットフォーム上でも活用でき、優れた空間情報の基盤製品をベースに各種映像情報を活用して、さらにわかりやすい形の映像空間情報を伝えられる「位置情報の見える化」をソリューション展開することによって、ビジネスの拡大やSI競争力の強化を図ろうというのが狙いだ。

「映像空間データベースを中心に、



図1 OverScene (長崎県雲仙)

CGやWEBを通じ提供したり、企業の業務システムに既存の地図情報と組み合わせて提供することを中心に営業展開しています。ビジネスの状況は、国の機関や自治体に向け、NTTデータの防災情報システムと映像空間情報を組み合わせて提供する他、建設・土木分野において地形図等を組み合わせた三次元ソリューションを提供するといった案件が中心です。最近ではメディア業界への映像コンテンツ提供も拡大しており、マラソンや駅伝などのコースナビの他、気象情報と組み合わせたお天気ニュースでのバーチャル天気予報といったことにも利用いただいています。」(e-コミュニティ推進事業部 ホームランドセキュリティ推進担当 磯尚樹課長)

3次元映像空間を自在に操作 OverScene

NTTデータは、3次元の映像空間情報の可視化ツールも独自に開発し提供している。国土交通省新技術情報提供システムのテーマ設定技術にも選定され、多数の利用実績がある「OverScene」は、衛星画像／空中写真を中心に3次元映像空間を多様にハンドリングできるパッ



(株)NTTデータ
第一公共システム事業本部
e-コミュニティ推進事業部
ホームランドセキュリティ推進担当
課長 磯尚樹氏

ケージソフトウェアだ。独自の高速描画エンジンによる高い操作性で、ストレスなく3次元映像を自由自在に操作できるのが大きな特長であり、地図との重合せや地形解析・計測に始まり、動画映像の作成まで幅広いニーズに対応可能である。また、スタンドアロンからWebサービスまで対応可能なスケーラビリティも兼ね備えている。実写さながらのリアルな3次元映像によるプレゼンテーション、シミュレーションにより、メディアや展示施設などのコミュニケーションの場面や、災害対応などの意思決定の場面での利用に最適である。

日本列島高精細衛星地図 だいちマップ

NTTデータは、以前からマルチソース（複数の衛星）による衛星画像データを提供してきたが、最近で

は宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発した陸域観測技術衛星「だいち」高精度に位置補正した地図製品「だいちマップ」を提供している。現在、国内画像の提供はすでに開始されているが、今後は海外画像の提供にも取り組むという。

また、「だいちマップ」などのコンテンツ提供に加え、ソリューション提供として、撮影位置特定システムを搭載したヘリテレの映像や全方位カメラを搭載した車載カメラの映像を提供する仕組みにも取り組んでいる。映像・時刻・位置の3つの情報により、何時、何処で、何が起こったかを正確に把握できることから、災害対処、警備・監視、施設管理、報道といった分野での利用が拡大している。

映像から抽出した情報の解析ソリューションが次の展開

イメージソリューションを展開するNTTデータの最大の強みは、以前より衛星画像を中心とした画像処理や画像管理のソリューションを提供してきたという実績、ルーツを背景にした大容量の映像空間情報を整



図2 だいちマップ（東京都台場）



図4 ヘリテレ映像リユース

理・蓄積して可視化するところだ。インターネット上で展開されている無償の各種地図サービスとは異なりNTTデータのイメージソリューションは、お客様が既に保有する映像情報の空間映像化したり、撮影時期や出所を明示した情報を、業務システムに組み込むことができるというのが一番の違いだ。NTTデータでは、映像空間情報の可視化に加え、今後は画像から情報を抽出し解析するソリューションの展開に注力していくという。

「今後、地球観測衛星をはじめ、各種カメラには、新しいセンサーを搭載していこうという動きが国内外で加速しています。新しいセンサーが搭載されることで抽出・解析が可能となる情報の幅が広がり、新しい

ソリューションの展開が可能になります。まず撮影し、映像をデータベース化し、さらに位置情報と時間軸をリンクさせて整理・蓄積して可視化する今までの取組みを第一ステップとするならば、次のステップは映像から情報を抽出し解析することです。すでに防災分野では、発災前と発災後の映像情報を比較して解析するといったソリューションを提供していますが、映像に含まれる情報の抽出・解析のサービス化は今後の重要なテーマです。」（礒尚樹課長）

「百聞は一見にしかず」といわれるように、共通認識の基盤として地図や映像の活用は有効だ。地図をベースにしたGISに加え、実写による映像空間情報を位置情報と時間軸を紐づけて可視化したNTTデータのイメージソリューションへの期待は、今後さらに高まるものと思われる。



図3 全方位カメラソリューション「gooラボウォークスルービデオシステム」で利用

お問い合わせ先

(株)NTTデータ
 第一公共システム事業本部
 e-コミュニティ推進事業部
 ホームランドセキュリティ推進担当
 TEL：050-5546-2507
 E-mail：imsinfo@kits.nttdata.co.jp
 URL：http://www.imagesolution.jp/